

# 美しい森林づくり全国推進会議 財団法人 全国子ども会連合会が担う 美しい森林づくりへの活動

「美しい森林づくり全国推進会議」の構成団体で、全国にある子ども会の活動を支援し組織の連携のための事業を展開している社団法人全国子ども会連合会。

常務理事・事務局長の宇田川光雄さんに

おもな活動内容や「美しい森林づくり全国推進会議」での役割などを伺いました。

## 地域を基盤とした子どもたちの コミュニケーション組織

全国子ども会連合会は、全国にある子ども会の活動をサポートし、子ども会活動の活性化と啓発、指導者の養成、組織の連携のための事業を展開する、子ども会のナショナルセンターです。子ども会とは、町会をはじめとした、地域の子供たちの集まりのこと。平成十六年十月現在では、全国に十二万一千三百七十



常務理事・事務局長の宇田川光雄さん

と約一三六万人の育成者・指導者が加入しています。これらの会員が市町村、さらに都道府県で組織化され、各都道府県と政令指定都市で子ども会連合組織をつくり、その代表者が全国子ども会連合会の会員になっています。平成十九年一〇月現在、五六都道府県・市の正会員、二市の準会員で構成されています。子ども会は、おもに地域での三つの活動が中心です。一つ目は、春の新生活歓迎会、夏のラジオ体操やキャンプ、冬のクリスマスや餅つきなど、季節に合った年中行事。二つ目は、お寺の掃除や花の水やりなど、日常生活に根付いた活動。三つ目は、ひと声かけ運動や挨拶運動など、子どもの心身の成長を促すための活動です。活動内容は基本的に子どもたちに任せていて、子どもたちから新たな提案があれば、育成者や指導者がそれをサポートしています。

## 正しい森林の守り方 育て方を教えるために

全国子ども会連合会では「美しい森林づくり推進国民運動」が始まる前から、森林づくりや国内外の救援など、さまざまな目的を持って日常的に募金活動してきました。森林づくりのための募金活動では、再生紙とペットボトルで募金箱を作成し、全国の人たちに向けて募金の呼びかけをしたり、子ども会に募金箱を設置し子どもたち自身が募金してい



1



2



3



4

ます。アフリカでは七円で一本、苗木が植えられます。「財布にある一円玉を入れましょう」と呼びかけると、みんな、積極的に募金をしてくれるんです。募金活動を行うことで森林づくりについて考える機会が得られ、子どもたちにはいい意識づけができていると思います。

平成十八年にはノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんが名誉会長を務める「MOTTAINAIキャンペーン」の中で、国土緑化推進機構などと連携し、「MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト」に参加しました。その後も国土緑化推進機構と協力して、平成十八年から十九年の二年間で二二

回の植林活動を行ってきました。各地域の子ども会が参加をしていますが、子どもたちは自分たちが木を植えることで木を大事にしようという気持ちが芽生え、森林に対する意識が高まっているようです。

初めて「美しい森林づくり全国推進会議」に参加した時、木は植えるだけでなく、適切に利用することが重要だと訴えていましたが、それはとても大事なことであります。割りばしは使ってはいけないと思われがちですが、間伐材などからつくったものは大いに使つていい。使つたらすぐに捨てるのではなく、今度は割りばし鉄砲にしたり、別の使い方を見ればよい。子ども会の活動を通して、

#### 財団法人 全国子ども会連合会

子ども会は、異年齢の集団による仲間活動、特に子どもの遊びの特徴をとらえた活動をすすめる、社会の一員として必要な知識、技能、態度を学ぶとともに、健全な仲間づくりをすすめる、子どもの心身の成長発達を促すために、地域を基盤としてつくられました。当連合会は全国に点在する子ども会の活動を助成するなどの取組を行っています。

<http://www.kodomo-kai.or.jp/>

木のありがたさを感じながら、正しい森林の守り方や育て方を子どもたちに伝えていければと思います。

- 1：ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんが名誉会長を務めます
- 2：マータイさんと子どもたちが一緒に植樹
- 3：上野動物園内で植樹を実施
- 4：鮮やかにパッケージされたペットボトルの募金箱